

信用金庫業界における データ利活用を通じた業務高度化について

～業界ビッグデータ利活用基盤「しんきんDB」～

信用金庫とは

信用金庫は、相互扶助を基本理念とした中小企業や地域住民のための**協同組織金融機関**。全国47都道府県に254の信用金庫があり、預金や融資だけでなく、信用金庫業界のネットワークを活用したビジネスマッチングや海外展開支援など多岐にわたるソリューションを提供



相互扶助を目的とした
協同組織の地域金融機関

信金中央金庫とは

信金中央金庫は、全国の信用金庫からの出資によって設立された信用金庫の**“中央金融機関”**。「持続可能な社会を実現する機能」「信用金庫のセントラルバンク機能」「機関投資家としての機能」の3つの機能を持ち、信用金庫や中小企業・個人の皆さまに最適なソリューションを提供



SCB

全国の信用金庫を会員とする
信用金庫のセントラルバンク

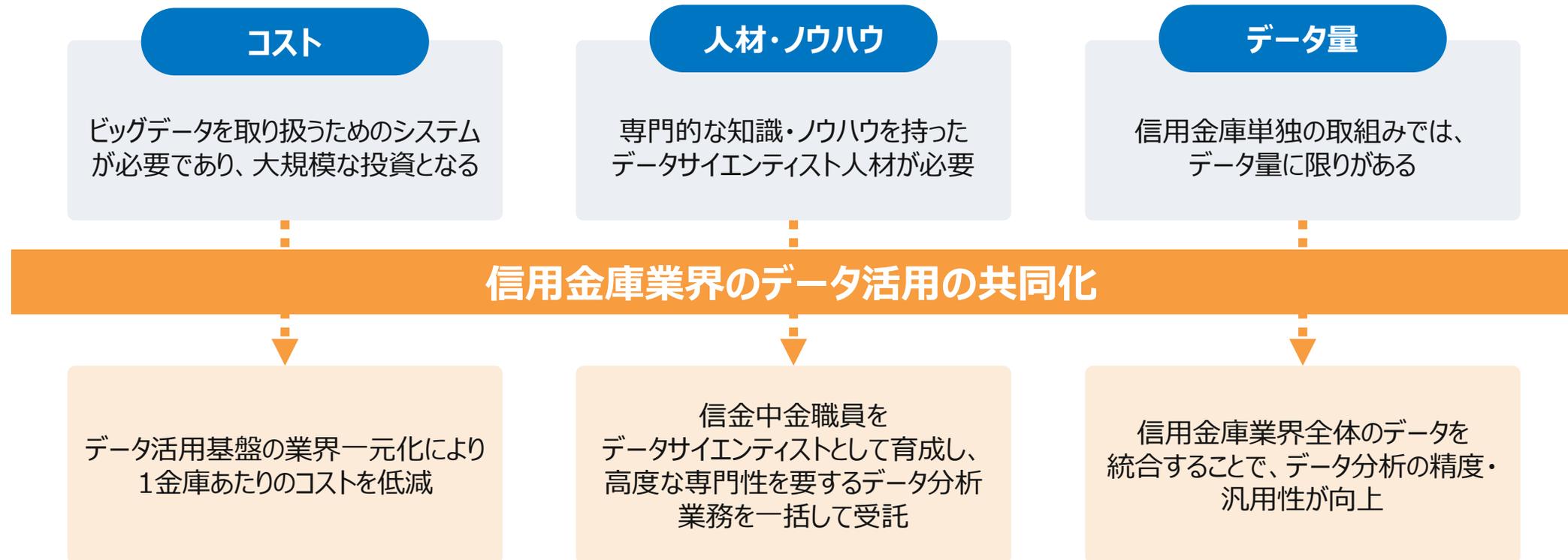
(2024年9月末)

信用金庫数	預金量	貸出金量	店舗数	役職員数
254金庫	163兆円	80兆円	7,078店舗	9.9万人

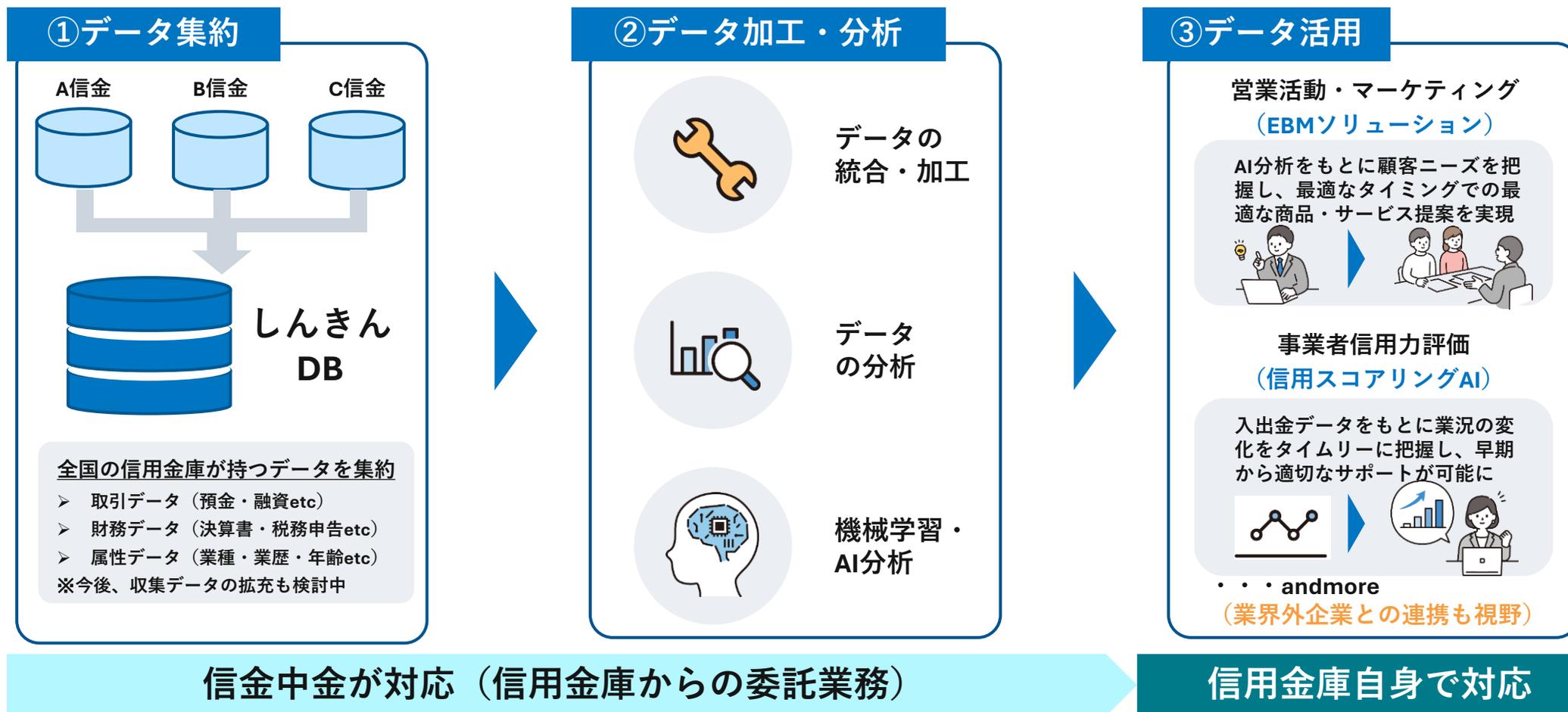
資金量	貸出金量	拠点数	役職員数
33兆円	7.9兆円	国内14拠点 海外6拠点	1,319人

- データ利活用の進展に向けては、「コスト」「人材・ノウハウ」「データ量」の3つの課題あり
- 業界全体での「共同化」により、解決を目指す。
→信用金庫業界のデータ利活用基盤「しんきんDB」を構築

信用金庫業界におけるデータ利活用の課題



- 信用金庫の持つデータを集約したうえで、AI等による分析を実施し、分析結果を信用金庫業務の中で活用
- 将来構想として、業界外企業との連携も視野。集約データを活用した新規ビジネスの開発等により、業界データベースとしての価値を最大限に引き出す。

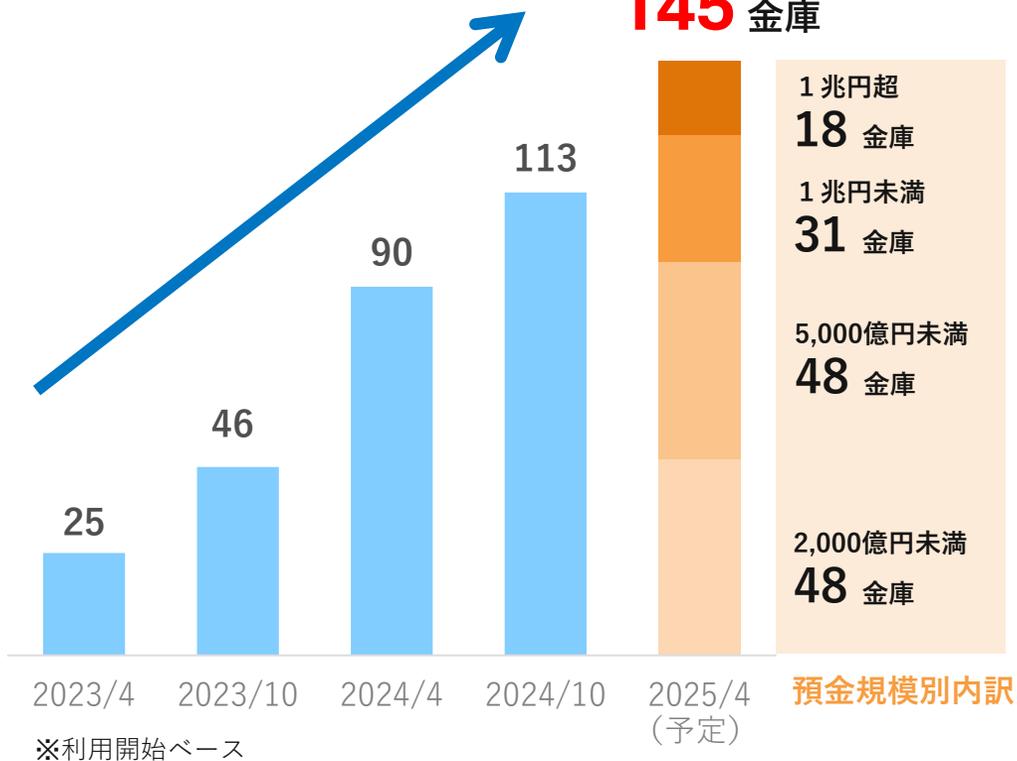


- 2023年4月のサービス提供開始後、導入金庫数は着実に増加し、全国信用金庫のうち半数超が利用
- 地区や規模を問わず導入されているのも特徴

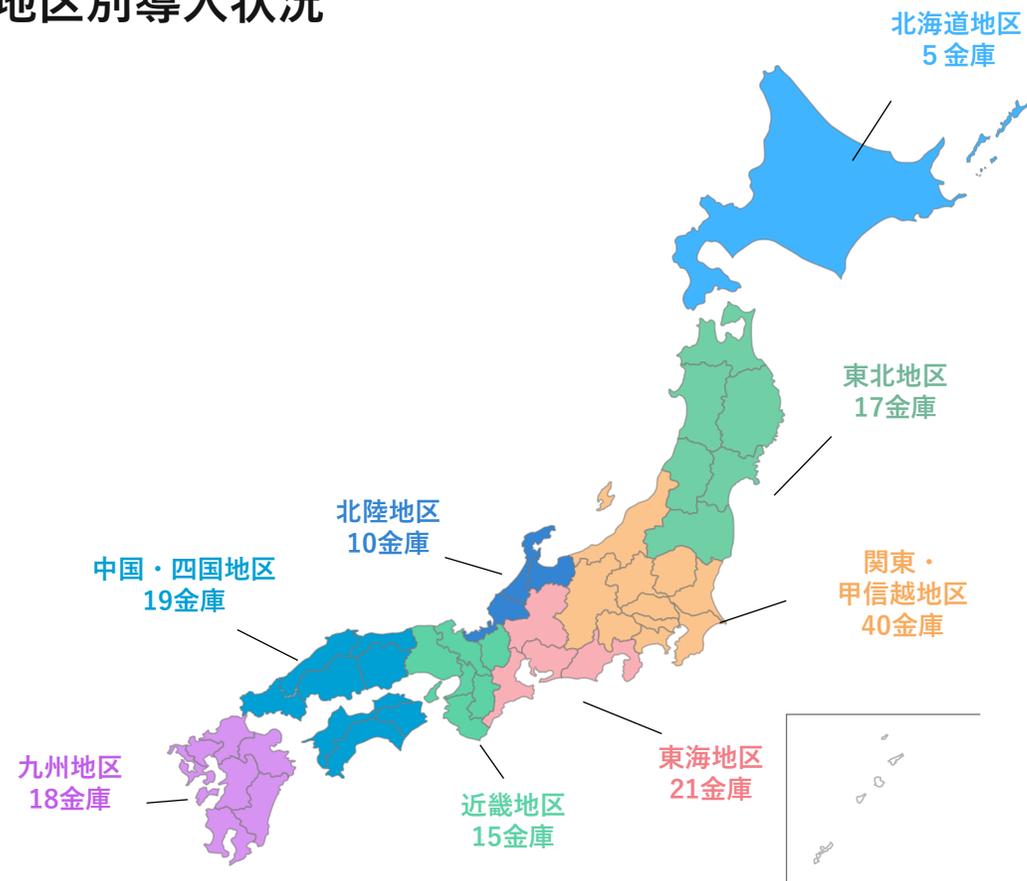
しんきんDB 利用金庫数

（全国254金庫中）

145 金庫



地区別導入状況



- EBM(イベント・ベースド・マーケティング)は、**優秀な営業担当**や**過去に成約に至った顧客の特徴**をAI・統計手法でモデル化し、顧客にとって最適なタイミングでの、最適な商品・サービスの提案に繋げるマーケティング手法
- しんきんDBでは、顧客一人一人について、「各商品の成約確度を表す**スコア**」「顧客の行動・顧客に起きた事象(**イベント**)とそれに応じた**推奨アクション**」を導出

(個人顧客の例)

店番	1	顧客番号	1000	氏名	信金 太郎	年齢	31
スコア		(参考) 確率		取引状況 (単位: 円、回ほか)			
1位	投信口座開設 (一括購入)	70.5点	(35.7%)	最高	5,000,000	最低	0
2位	投信口座開設 (定時定額)	62.8点	(32.3%)	平均	400,000	毎月平均入金金額	1,600,000
3位	フリーローン契約	48.5点	(19.5%)
4位	定期積金契約	43.2点	(36.1%)
5位	個人向け国債購入	21.2点	(9.8%)

検知イベント	実測値	推奨アクション
子供誕生	児童手当の増加額: 50千円	子供の誕生にかかるお祝いのご挨拶をしましょう。将来の教育資金に向けた資産形成の大切さを他のお客様の例なども交えてお伝えしましょう。
流動性預金残高増加	流動性資産の半年平均対比: 1.3倍	収入増加、または支出減少により残高が増加傾向にあります。要因を確認し、余剰資金による資産形成プランを共有しましょう。
大口入金	入金額: 1,100千円	入出金履歴を確認し不定期な入金である場合、お礼のご挨拶を行いましょう。また、今後のお使い道を確認しましょう。

各商品の成約確度を表すスコアにより、顧客に**提案すべき商品**を理解

検知イベント・推奨アクションにより、**提案の糸口**を掴む

(活用イメージ)

- ✓ 最適なタイミングでの最適な商品の提案
- ✓ 営業ノウハウの可視化



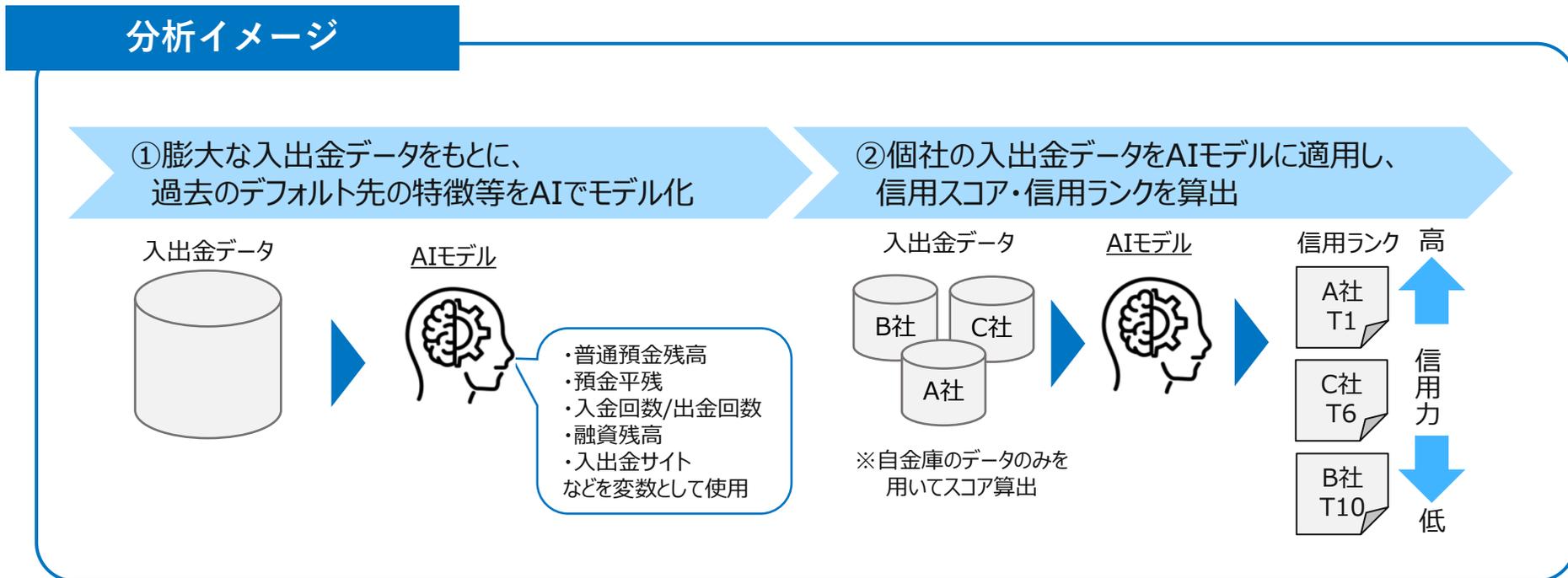
- ✓ 効率的な訪問計画の策定
- ✓ 確度の高いDM・SMS送付



資料投影のみ

資料投影のみ

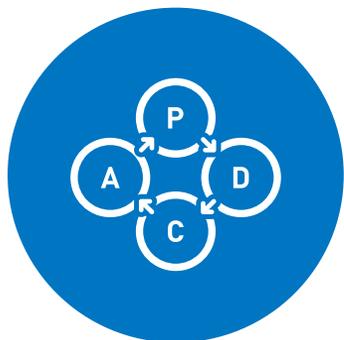
- 信用スコアリングAIでは、**口座入出金データ**（入出金の動きや残高等）を用いて、事業者の信用度を評価し、スコア・ランクとして表示
- 過去のデフォルト先の特徴を学習したAIにより、高い精度でのデフォルト予測を実現
- 評価にあたり決算書等の**財務情報は不要**。また、**高頻度（月次）での評価更新**が可能



資料投影のみ

資料投影のみ

- 「しんきんDB」の持つ価値を最大限に発揮するため、以下の3つの軸に基づき取り組みを進めていく方針



既存サービスの改善

既存の分析サービスの内容について、ユーザーである信用金庫の意見を取り込みながら、機能改善を継続的に実施

ex.

EBMソリューションにおいて、新しいイベントを信用金庫職員の意見をもとに設計し、順次追加実装中



新規サービスの開発

信用金庫の経営力強化に資する新たなデータ分析サービスを開発。提案力強化や信用力評価に留まらず、データの力を様々な分野で発揮

ex.

金庫内のデータおよび国勢調査等のデータを活用し、信用金庫が店舗戦略を立案するための分析サービスについて検討中



他社との コラボレーション

我々の持つDBや分析ノウハウを最大限に活用するため、柔軟な発想でビジネスを展開

ex.

新たな価値創造に向け、複数企業との協議を実施。他社保有データとしんきんDBデータを掛け合わせた分析サービスについて検討中

- 本資料は、信金中金が信頼できると判断した情報にもとづき作成したものであり、その情報の正確性、完全性を保証し又は約束するものではありません。
- なお、本資料に記載された意見や予測等は、資料作成時点の信金中金の判断であり、今後、予告なしに変更されることがあります。
- 本資料は、皆さまがいかなる目的にご利用される場合においても、皆さまご自身のご判断と責任においてご利用されることを前提に作成しており、信金中金はいかなる場合においてもその責任を負いません。